

会議録

会議の名称	令和5年度第9回新城市若者議会
開催日時	令和5年10月27日（金）午後7時から午後9時まで
開催場所	市役所4階会議室
会議の内容	令和5年度第9回新城市若者議会 ・政策案共有と質疑応答 ・議決

1 政策案共有と質疑応答

各委員会から現在検討をしている政策について全体へ共有を行った。また所属委員会以外のメンバーから政策内容について質問がなされた。質疑応答の内容は以下のとおりである。

<p>まちづくり委員会 「集まりん 深まりん かふえりん 事業事業」</p>	<p>意見：まちなみ情報センターは、勉強する場所というイメージが強く、交流する場所というイメージがなくなっている気がするので、今回改めて交流の場をつくるのはとても良いと思う。</p> <p>質問：交流する場としてInstagram広告などで周知していくということだが、具体的にどのような交流を目的とした場所だと伝えるのか。</p> <p>回答：Instagram広告デザインは、まだ具体的に決まっていない。今後検討していく。</p> <p>質問：Instagram広告の費用が165千円となっているが、期間などどのような積算になっているか。</p> <p>回答：30日間で8万回再生される場合の見積りである。広告のデザイン料も含まれている。</p>
<p>若者議会委員会 「Newジェネ事業」</p>	<p>質問：若者議会のマイナスイメージを払拭して若者議会に入ってもらう人を増やすということであるが、どのように効果を測るのか。</p> <p>回答：若者議会とつながる地域と若者の輪の参加者人数で効果があったかを判断する。そのほかの測り方については、今後検討していく。</p> <p>質問：具体的に人数はどれぐらいか？</p> <p>回答：まだ考えていなかったが、つながる地域と若者の輪については、例年の2倍ぐらいの参加者数、若</p>

	<p>者議会については、定員が割れないことを目標にするという案が出ている。</p> <p>質問：つながる地域と若者の輪のフィールドワークについては、具体的にどこに行くのか。</p> <p>回答：会場のある地域に沿ったテーマを事前に設定し、公共施設等に行って説明を聞くなどを想定している。</p> <p>意見：4時間で開催するということがあったが、移動時間も長いと思うので、前半と後半の間にアイスブレイクも兼ねた昼食の時間も含めて5時間ぐらいで見積もってもいいのではないかと思った。</p> <p>回答：活動時間は4時間であるが、昼食の時間も別でとってあり、合計5時間を設定している。フィールドワークについてもそこまで遠くない施設を選定しようと考えている。</p> <p>質問：ポスターのデザインは自分たちで考えて自分たちで作成したものか。デザイナーなどに作成してもらったほうがいいのではないか。</p> <p>回答：スライドに載っているのは、あくまでイメージである。印刷製本費にデザイン料も含まれている。まちがえさがしについてもイラストを作成してもらった費用が含まれている。</p> <p>意見：今年度のつながる地域と若者の輪の様子を見たが、市役所というなじみのない場所でやると始めに力んでしまっている感じがしたので、学校の体育館で行うのはとてもいいアイデアだと思った。</p> <p>質問：開催時間が長くなることで、参加のハードルも上がると思うが、参加してもらうための工夫はあるか。</p> <p>回答：2時間という短い時間では、最後まで打ち解けることなく終わってしまい、意見が出ずらいため、交流する時間を増やすために4時間に延ばしたという経緯がある。延ばすことで来づらくなるということは想定していたため、その対策として市役所ではなく自分たちに親しみのある中学校で開催することや、今まで白黒だったチラシをカラーにして注目を集めやすくすることを考えた。</p>
<p>農業委員会 「seeds for しん しろ～おいしいで</p>	<p>質問：キャンプ用特産品セット販売促進について、市内にあるキャンプ場の多くは、商業施設がある中心部から離れているが、具体的にどこのスーパーに</p>

<p>つながる地域の〇 ～事業」</p>	<p>お願いするのか。</p> <p>回答：現在検討中であるが、Aコープさんなどをお願いしようかと考えている。</p> <p>意見：市内のスーパーで買ってキャンプ場に行くという動線が見えづらいので、もっくる新城など市外から来た人たちが寄る場所、動線などを考えた上で提案できるとよいと思う。</p> <p>意見：給食レシピコンテストは、1品1人あたり180円程度で作れるものということであるが、具体的にどのように180円を算出するのかという計算方法をチラシなどに載せてあげると親切かと思った。</p> <p>質問：給食レシピコンテストを終えたあとのフィードバックなどは考えているか。</p> <p>回答：優勝者を選んだあとは、レシピを市のホームページや広報紙等に掲載し、地産地消の促進につなげられるよう広報していきたいと考えている。</p> <p>質問：それぞれの事業について、何をもって成功したと判断するのか。</p> <p>回答：効果を測る指標等については、まだ検討していなかったため、今後検討していく。</p> <p>質問：給食レシピコンテストの審査員はどのように選出するのか。</p> <p>回答：農業課や管理栄養士の方をお願いする予定である。</p> <p>質問：子どもの頃から地場産物を学んでもらうということであるが、調理等は小中学生にとっては少しなじみがないのではないかと思うが、子どもたちに対する具体的なアプローチがあれば教えてほしい。</p> <p>回答：保護者の方も一緒になって考えていただくことが想定されるため、保護者の方にも新城市の地場産物に興味を持ってもらいつつ、小中学生にアプローチできたらと考えている。</p> <p>質問：キャンプ用特産品セットについて、このセットを買ってもらうことで消費が拡大したとするのか。今年度担当課で給食レシピコンテストを開催するということがあったが、応募する側にとっては、地場産物を使うか使わないかという違いはあるものの、本質的には給食のレシピを考えるという点</p>
--------------------------	--

	<p>で変わらないと思う。どこで差別化を図るのか。</p> <p>回答：提案したセット商品をお店で実際に取り扱って けているかはわからないため、効果は測りづら いが、このようなPR方法があるという提案をす る。給食レシピコンテストについては、今年度開 催するものとの差別化は考えていない。</p> <p>質問：1品あたりの値段はどうやって設定したのか。</p> <p>回答：実際の給食の1食分が180円なので、それに合 わせた。</p> <p>質問：農業体験は、市外の人のみが対象か。</p> <p>回答：新たに体験イベントを開催するわけではなく、も ともとある体験をパンフレットにまとめて見やす くするというものなので、こちらから市内、市外 の限定をするものではない。</p>
--	---

2 議決

各委員会は、質問や意見のあった内容について改めて話し合い、最終的な政策内容と予算を決定し、その結果を全体に共有した。議決に関しては、新城市若者議会条例第6条に基づき、議長進行のもと「答申すべき」「答申すべきでない」の2択で投票を行い、当日の出席委員の過半数で決した。以下は議決結果である。

●まちづくり委員会「集まりん 深まりん かふえりん事業」

政策：政策内容に変更なし
 予算：変更なし
 投票の結果：答申事業と決定

●若者議会委員会「Newジェネ事業」

政策：政策内容に変更なし
 予算：変更なし
 投票の結果：答申事業と決定

●農業委員会「s e e d s f o r しんしろ～おいしいでつながる地域の〇～事業」

政策：政策内容に変更なし
 予算：変更なし
 投票の結果：答申事業と決定

終了時間：午後9時